

広島県教育委員会は、**絵本の読み聞かせ**をおすすめしています



悩みや不安はありませんか？

絵本で子育てを楽しく！

●「絵本の読み聞かせがいいよ」ってよく聞くし、私もそう思うけれど、子供が絵本に全く興味がないみたいなのですが…。

●せっかく絵本の読み聞かせをしているのに、途中でページをめくってしまいます…。



「絵本の読み聞かせ、うまくいかないな…」と思ったら、まずはこのチラシを読んでみてください。



大丈夫ですよ！

何より大切なのは子どもとのふれあいコミュニケーションです。おひざにだっこで絵本で遊ぶような感覚で気楽な気持ちでね

図書館

初めのうちは落ち着いて最後まで聞くことができない子がほとんどです。無理をして読み続ける必要はありません。お子さんの状態に合わせて関心を示してきたら続きを読んであげるようにしましょう

詳しくは裏面へGo!

● 赤ちゃん絵本についての Q&A

Q 何歳くらいから、読んであげればいいのか？

A 「読んであげたい」と思ったときに、始めてみてはいかがでしょうか。
初めのうちは反応が返ってこないかもしれませんが、赤ちゃんと一緒に絵本の世界で遊ぶつもりで読んでいくうちに、興味を示してくれる時が来ることでしょう。

Q 絵本に全く興味がないみたいなのですが？

A 心配はいりません。
初めのうちは、落ち着いて最後まで読むことができない赤ちゃんがほとんどです。絵本をなめたり、かじったり、投げたりする子もいるかもしれません。絵本を広げても、逃げ出したり、きょろきょろしたりして集中できないこともあるかもしれません。無理をする必要はありません。赤ちゃんの状態に合わせて、関心を示してきたら、読んであげましょう。

Q 途中でページをめくってしまうのですが？

A 大丈夫ですよ。
絵本はおもちゃの一つのようなものです。絵本は最初から最後まで通して読まなくてはいけないというものではありません。赤ちゃんのペースに合わせて、ページの絵を見ながらお話したり、声をかけたりして、一緒に楽しみましょう。

Q 一日何冊くらいを目安に読めばよいのですか？

A 好きなときに好きなだけ読んであげてください。
赤ちゃんの状態に合わせて、おやすみ前や食事の後など、赤ちゃんの生活のペースに合わせて、絵本を読む習慣を少しずつ付けていくというやり方もあります。

Q 同じ絵本ばかり何度も「読んで」とせがむのですが？

A 何度でも、ぜひ、読んであげてください。
赤ちゃんは、読んでもらう度に、新しい発見をしているのかもしれません。また、同じ絵本を何度も読むということは、その絵本が赤ちゃんにとってそれだけ魅力的なのかもしれません。本を好きになるための大切な体験だと考えてみてはいかがでしょうか。

Q 「乗り物」の本にしか興味を示さないのですが？

A 心配はいりません。
特に男の子は、「乗り物」の絵本が大好きです。一緒に「乗り物」についてのストーリーを作ったりするのもよいかもしれません。また、「乗り物」の登場する「おはなし」の絵本を読んであげるといっても大丈夫です。

Q 是非「パパ」にも、絵本を読んでやってほしいのですが？

A そのとおりですね。
パパに絵本を読んでもらうのは、ママとはまた一味違う良さがあります。パパと赤ちゃんが過ごすひとときに、絵本を楽しむ時間を加えてみてください。パパが登場する絵本も、たくさんあります。

Q 絵本を読むと、字が早く覚えられますか？ しつけにもいいのでしょうか？

A 絵本は早期教育やしつけのための道具ではありません。
絵本を読むことでいろいろな知識が身に付くことはあるかもしれませんが、赤ちゃんにとっては、絵本はコミュニケーションの時間であり、温もりを感じるスキンシップの時間でもあります。一緒に絵本を楽しむことで育まれる心の安らぎは、何にも代え難いものではないでしょうか。

参考「赤ちゃん向け絵本ガイド」広島県立図書館／編集 広島県読書推進運動協議会

読み聞かせによる3つの育み

ゆたかな「こころ」

赤ちゃんは、お父さん、お母さんや家族のあたたかな声の響きや肌のぬくもりが大好きです。安心できる声で語りかけてもらうことで、愛情を感じ、人との関わり方や、相手を思いやる気持ち、社会性を育てていきます。

やさしい「ことば」

心地よい声の響きやリズムを楽しみながら、たくさんの「ことば」を吸収し、想像力を豊かにしていきます。

「まなぶちから」

身近な人とのふれあいの中で、言葉を学び、聞く力や、表現する力を育てていきます。同時に、いろいろなことへ興味・関心を持つようになります。

読み聞かせや子育てについて、もっと学びたい方は…

「親の力」をまなびあう学習プログラム（通称「親プロ」）をおすすめします！

- 親子関係や家族関係をより豊かなものにしていくきっかけ作りのために、子育てについて交流しながら学び合う「寄って、話して、自ら気づく」参加型の学習プログラムです。
- 少人数でも、多くの方が集まれる場合でも実施できます。
- 様々な場面で使える複数のプログラムがあります。
- 話し合いを進行するためのファシリテーター（講師）を派遣します。



ワークシートを使って学習します。

「『親の力』をまなびあう学習プログラム」についてのお問い合わせは **今すぐこちらまで！**

広島県立生涯学習センター TEL：082-248-8848

メール：sgcshinkou@pref.hiroshima.lg.jp

H P：http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/center/

はつとひろしま

検索

← クリック！

または各市町の「家庭教育担当課」へお問い合わせください。



お気軽に
ご相談ください

